

備えをしっかりと 年末年始の 防犯対策

何かと慌ただしくなる年末年始は、犯罪が多くなります。今回は、さまざまな防犯対策を紹介しますので、「自分だけは大丈夫」と油断せず、今すぐ始めましょう。

あなたの家は大丈夫？ わが家の防犯チェック

■駐車場の屋根・物置・エアコンの室外機などが、2階へ侵入する足場になっていないか。



■塀や柵・垣根は、周囲からの死角の原因となっていないか。

▽塀、植栽はできるだけ低くする。
▽ベランダの手すりは見通しのいい格子タイプに変える。

▽庭木、植栽の手入れは小まめにする。

■門扉は施錠可能で、屋外照明が設置されている。

▽人が近づいたとき反応して点灯するセンサー式ライトの設置も効果的。

■しっかり施錠している。

▽鍵をピッキングに強いものに交換する。

▽防犯合わせガラス・フィルムを設備する。

▽玄関に補助錠を取り付ける。

▽就寝時も窓を閉める。

■ドアにはのぞき穴、ドアチェーンが設置されている。

■日ごろから、家族で防犯対策を話し合っている。

■自宅・自転車・自動車の鍵掛けを習慣付けている。

■日ごろから、近所とあいさつなどの声掛けをしている。

■地域の自主防犯活動に参加している。

愛車を守るために

■自動車

▽エンジンキーを抜いてドアロック。

▽車内には現金や貴重品などを置かない。

▽バッグなどは外から見えない所に置く。

■自転車・オートバイ

▽防犯登録をする。

▽通常の鍵の他に、チェーンなど複数の鍵でロックする。



空き巣・忍び込み対策

家主不在時に侵入する「空き巣」や、家主が夜間に寝静まったときに侵入する「忍び込み」などの多くは、侵入に5分以上時間がかかるため、侵入をあきらめるといわれています。しっかりと施錠し、泥棒が家屋に侵入しにくい環境をつくりましょう(右の図)。

ひったくり対策

被害者の9割以上が女性

です。バッグは車道側に持たない、人通りの少ない場所ではできるだけ通らない、自転車のカゴにはひったくり防止ネットを付けるなどの対策をしましょう。また、金融機関で現金を引き出した後は、周りに不審者がいないか特に注意しましょう。

被害が拡大しています 車上狙い・乗り物盗対策

離れるときは、短時間で必ず鍵をかけましょう(右の図)。

特殊詐欺に注意

高齢者などを狙った特殊詐欺の手口が巧妙化しています。「電話番号が変わった」「必ずもうかる」「ATMで払い戻し」などは、詐欺の決まり文句です。お金や通帳を動かす前に、必ず誰かに相談しましょう。25ページも併せてご覧ください。

一戸一灯運動

ご自宅の防犯に加え、街

ご協力ください

冬休み 子どもたちの 安全を地域で守ろう

あいさつが活発に交わさ

を明るくし、地域の防犯力を強化する一戸一灯運動を12月11日〜平成30年1月3日の約1カ月間、実施します。期間中、自宅の外灯を点灯させるなど、ご協力ください。本市でも、警察や自主防犯活動団体と協力して、夜間の防犯パトロール強化などを行います。

れ、コミュニケーションが緊密な街は、犯罪者から敬遠されます。反対に、ごみの散乱や放置自転車など環境の乱れた地域を犯罪者は狙います。日ごろから地域ぐるみで、環境を整え、犯罪者を排除しましょう。不審な人を見かけたら110番通報し、子どもたちの安全確保に努めてください。また、一人きりや遅くまで遊んでいる子どもがいたら、早く帰るよう促してください。

◎この特集についての問い合わせは、生活安心課☎(632)2137へ。